



(1) 出来上つた宮益坂の高架橋。

東京高速鐵道
澁谷線の工事

東京高速鐵道の第一期工事として施工中の澁谷線は省線澁谷驛ホーム上屋より玉川電車線の上に高架を以て澁谷驛を設け、省線・東横電鐵、玉川電鐵、帝都電鐵と極めて便利なる聯絡乗降設備を爲し、之れより目下擴張工事中の東横百貨店増築部の三階を貫き、高架線にて富益坂中腹迄行き、それより地下に進入し、青山通を赤坂見附に出て、溜池、虎ノ門を経て新橋に於て東京地下鐵と直結し、此の區間に、澁谷、青山六丁目、青山四丁目、青山一丁目、赤坂見附、虎ノ門、新橋に停留場を設置するもので、年内竣工を目ざして工事を急いでゐる。

この地下鐵道の構造は、函型一柱式複線隧道と、單線二階式函型隧道を主とし特殊部分は兩者を併用する設計である。地下二段に線

路を設ける構造は本邦に於ては此工事が初めてで、是は赤坂見附連絡停車場の構造を簡易ならしむる爲め採用したるものにして、一面向地面積の約並に道路下占用面積を減少することが出来たのである。

停車場部分の構造は、凡て鐵骨鐵筋コンクリートを用ひ、普通複線部分は悉く鐵筋コンクリート構造である。坑内の換氣は、歩道上間隔約100米毎に、通風口を設け、電車運轉に伴つて起る自然換氣並に特殊の箇所には、メカニカルドラフトの設備をなす豫定である。

軌道は騒音防止の爲、コンクリート道床を排し、特殊部分を除き碎石道床とする豫定である。

高架線區間は鐵筋コンクリート四連々續複線ラーメン型とし、澁谷驛に於ける省線横斷個所には橋梁を架設する。

(2) 略完成の虎ノ門停留場。

